

一神教と多神教

新たな文明の対話を目指して

● 講演



一神教と多神教

——グローバル経済の謎

中央大学総合政策学部教授 中沢 新一



多神教からの一神教批判に応える

——文明の相互理解の指標を求めて

同志社大学神学部教授 小原 克博

● 日時

2004年

10月30日[土]

午後1:30～4:00

● 会場

同志社大学 今出川キャンパス

明德館21番教室

京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車
3番出口徒歩1分

入場無料・事前申込不要



C I S M O R

主催／同志社大学 一神教学際研究センター

問合せ

TEL. 075-251-3972

E-mail. staff@cismor.jp <http://www.cismor.jp>

一神教と多神教

Monotheism & Polytheism

日本の論壇では、特に9・11以降、一神教と多神教をめぐる論説を多く見かけるようになりました。仏教や多神教の立場から、一神教の問題点を批判し、多神教の現代的な可能性を積極的に説く人も少なくはありません。

しかし、一神教か多神教か、という二者択一では、問題は解決しないでしょう。文明論的な視座から、両者の関係や問題点を考えていく必要があります。

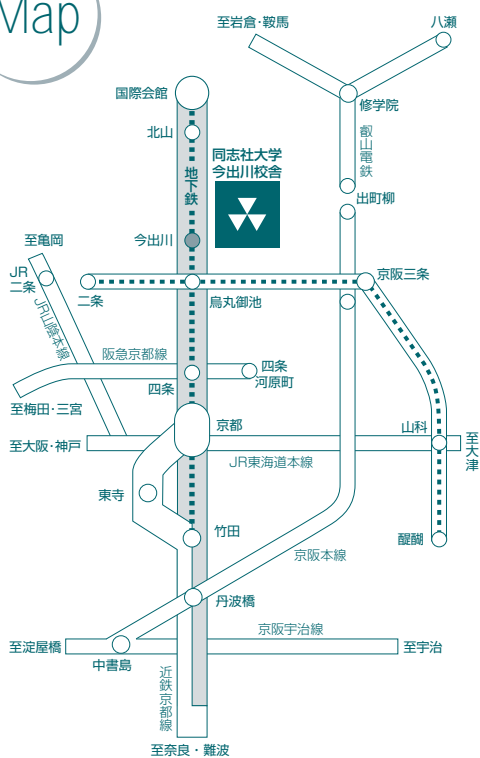
また、一神教世界における紛争の問題や、それを解決していく方法に対する関心を寄せる人は国内にとどまりません。グローバル化する世界の中で、多くの問題が、ユダヤ教・キリスト教・イスラームといった一神教に対する理解と洞察を必要としています。

相次ぐテロに象徴される、混迷する世界秩序の中で、共有可能な価値観を見だし、安定した基盤を作り出していくことは、危急の課題であると言えます。

この講演会では、このような一般的な関心に応えつつ、学問的な立場から、一神教と多神教の関係を整理し、今後の議論を啓発する積極的な問題提起をしていきたいと考えています。

講演者と来場者との質疑応答の時間も予定しています。どうぞ、お誘い合わせの上、お越しください。

Map



アクセス：京都市営地下鉄烏丸線「今出川」下車
京都市バス「烏丸今出川」下車

講師プロフィール

中沢新一

1950年生まれ、山梨県出身。研究テーマはチベット仏教学、神話学、考古学、哲学と広い。現在中央大学総合政策学部教授。最近の著書として『緑の資本論』、『精霊の王』集英社、『カイエ・ソバージュ』シリーズ(①『人類最古の哲学』 ②『熊から王へ』 ③『愛と経済のロゴス』 ④『神の発明』 ⑤『対称性人類学』) 講談社など多数。

小原克博

1965年大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。現在、同志社大学神学部教授。専門は、キリスト教思想、比較宗教倫理学。現代社会が直面する先端的課題に対し、フェミニズム、生命倫理、エコロジーなど多様な学問領域を切り口にしながら応答を試みている。近著に『神のドラマツルギー—自然・宗教・歴史・身体を舞台として』(教文館)、『よくわかるキリスト教@インターネット』(共著、教文館)『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』(共著、世界思想社)、『EU世界を読む』(共著、世界思想社)などがある。